

**タイトル (ゴシック体, 11p, 太字, 中央寄せ)**  
**サブタイトル 太字ゴシック体 10p, 中央寄せ) ※なければ空白**

○有機 太郎<sup>1)</sup>・水田 次郎<sup>2)</sup>・畑中 三郎<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>国立有機研究所、<sup>2)</sup>有機技術大学

## 1. 要旨の提出方法と書式

MS ワードもしくは、一太郎 で作成し、メールの添付ファイルで送付すること。

用紙は A4, 42 字×40 行 マージン (余白) は上下左右とも 25mm とする。句読点は「,」と「。」を使用。分量は 3 ページ以内とする。用紙はこの書式をそのままご利用ください。

1 行目: タイトル (太字ゴシック体 11p, 中央寄せ)

2 行目: サブタイトル (太字ゴシック体 10p, 中央寄せ) ※なければ空白

3 行目: 空白行

4 行目: 著者 (明朝体 10.5p, 右寄せ), 発表者に○, (例. ○有機太郎<sup>1)</sup>・水田次郎<sup>2)</sup>)

5 行目: 所属 (明朝体 10.5p, 右寄せ), 例. <sup>1)</sup>国立有機研究所、<sup>2)</sup>有機技術大学

6 行目 空白行 (所属等が一行で収まらない場合, この行を充てる。)

7 行目: 本文 (明朝体 10.5p), 節題をつける場合は, ゴシック体 11p で, 1., 2., とする。さらに中節, 小節にわける場合は, (1), (2), …, 1), 2), …とする。なお, 中節, 小節の題はゴシック体 10.5p とする。

1 ページ目の 37 行に罫線を引き, 38 行目には英文タイトル, 39 行目には英文著者名, 40 行目には英文所属機関名, ゴシック体 10.5p で記載する。単位は, 国際単位系 (SI) (SI 単位と併用してよい単位を含む) とし, 必要に応じて従来単位を併記する。

注を付ける場合は, 本文中の当該箇所の右肩に上付き文字で 1), 2) …と番号をふり, 数字は半角文字を用いる。注の文章は, すべてまとめて本文の末尾に (文献リストの前に) 1 行あけて記載すること。

本文中で文献等を引用する場合は, 全角の丸括弧 ( ) 内に著者名 (刊行年) もしくは (著者名 刊行年) のように記載する。著者名は姓だけとする。典拠した文献は本文のあとの [注] のあとに 1 行あけて, 記載する。各文献は, 著者名, 発行年, 題名, 出版社の順に記載する。雑誌等に掲載されている文献は, 著者名, 発行年, 題名, 雑誌名, 巻号, 引用ページの順に記載する (出版社は示さない)。欧文の場合, 著書名, 雑誌名はイタリック体にする。

## 2. 図表等の作成について

### (1) 図表

作成には, ワード, 一太郎, エクセル, パワーポイントを使用する。色はすべて白黒とし, カラーやグレースケールは使用しないこと。ワードや一太郎に, エクセルやパワーポイントのファイルを埋め込んだ場合には, オリジナルのエクセルやパワーポイントファイルも添付する

---

English Title

Author's name

Institution

こと。これら以外のソフトやグラフィックフォーマット（JPEG, GIFF, PDF）を要旨に取り入れる必要がある場合には、事前に問い合わせをしてください。また、図は図1，図2・・・と順に番号をふり，図下中央に題名（ゴシック体）をつける。表は表1，表2・・・と順に番号をふり，表頭中央に題名（ゴシック体）をつける。図題，表題，図中の文字や10.5p以上とすること。なお，図表の読み方など必要に応じて「注」をつける。

## （2）写真

カラー，白黒のいかんに関わりなく，写真の使用は不可とする。

## 3. レイアウト

テキストと図表の割付等は著者の責任でお願いします。大幅にレイアウトが異なる場合，修正を求めることがあります。なお，最終的なレイアウトは事務局にご一任頂きます。

## 4. 提出先および問い合わせ先

メール：yuki\_gakkai@yuki-gakkai.com

日本有機農業学会事務局

千葉商科大学人間社会学部 小口広太研究室内